

**躍動!** 薩摩川内の若者たち

全国の舞台は2回目の挑戦。九州チャンピオンとして挑んだ前回大会初戦敗退の悔しさが強い気持ちと

なつて現れ、初戦から前回大会3位のペアにストレート勝ちし、勢いをつけると2戦目も勝利。準決勝では、敗れはしたものの2点差まで詰め寄るなど、終始自分たちのプレースタイルを貫き、全国3位に輝きました。

いつも一生懸命で試合中の粘り強さが武器の馬場さんと、頭脳プレーが得意でメンタル面でも強さが出てきた横路さん。お互いしつかりつなぎ合いながらチャンスを待ち、スタミナを生かした長いラリーを戦えるのがペアの持ち味。

「フットワークを鍛え、コートカバー力を上げたい(馬場)」「筋力を上げ、ショットの強化と安定を目指す(横路)」

**新体操**

Rhythmic gymnastics

鹿児島純心女子高校1年

愛甲 唯姫さん(育英小学校出身)

第20回全日本新体操クラブ団体選手権大会準優勝



▲緊張で逃げ出したいくらいでも団体の競技が一番楽しいという愛甲さん

**B** バドミントン  
Badminton

永利小学校5年 馬場 結渚さん  
横路 昊和さん  
(川内ジュニアバドミントンクラブ)

日本小学生バドミントンフェスティバルINくまがや 3位

お互いを信じ合い  
全国の舞台で堂々3位



▲コート内での信頼関係が最高のプレーへとつながります。目指すは全国の頂点!

**愛** 甲さんは、5歳から新体操を始め、大会で見た鹿児島純心の演技に憧れ、自ら地元を離れ、鹿児島純心女子中学入学を志願しました。

ミス一つで壊れてしまう。あの時感じた絶望感と悲しみが、どんな時でも忘れられないと言います。この経験から、技の正確さや演技力だけでなく、自信と強さを意識して練習を重ねるようになり、昨年、鹿児島純心女子高校へ入学。先輩たちとつかんだ全国の舞台で、見事準優勝に輝きました。

周りの方への感謝を忘れず  
再び全国を目指したい

進学した純心女子中学2年の時、全国の舞台を夢見る先輩たちと挑んだ試合で、緊張と不安からのミスもあり、全国の扉は閉ざされてしまいました。

「今」を大切に、後悔しないよう練習を積み上げ、再び全国を目指したいと自信に満ちた表情で話してくれました。



**躍動!** 薩摩川内の若者たち

薩摩川内市の将来を担う子どもたちや若者たち。スポーツや文化、その分野はさまざまなかれど、一生懸命に取り組むその姿は、皆一様に美しく、いつも私たちの心を打ちます。今回は、さまざまな分野で活躍する若者たちの軌跡を追い、全国のトップで輝く若者たちをご紹介します。

**L** 手紙作文

Letter writing

平佐西小学校2年 若林 謙心さん

第52回・第53回 日本郵便(株)手紙作文コンクール  
はがき作文部門 文部科学大臣賞(2年連続受賞)



▲小学1年生で文部科学大臣賞に輝いた昨年度のはがき作文

大好きだからね。  
いつもじいじと一緒になんだよ。

今月号の表紙を飾った若林謙心さんのはがき作文は、京都府から本市に引っ越してきたことにより会えなくなった奈良県に住む祖父への思いをつづった昨年の手紙に続き、入院した祖父を心配しながらも、コロナ禍で今すぐに会いに行くことができない切ない気持ちをしたためたものです。

移住前は、ならじいじの体調も考慮して京都の自宅と一緒に過ごすことも多かったという謙心さん。

ものづくりが得意ならじいじは、孫の謙心さんたちが小さい頃から作り手の木のおもちゃをたくさん作って、とてもかわいがってくれていて、謙心さんもうじいじが大好きでした。

そんなならじいじを思っただけの手紙が、じいじだけでなく、読んだ人の心を打つ作品として、昨年に続き、文部科学大臣賞を受賞し、2年連続同賞受賞の快挙となりました。